

「第3次白山市総合計画基本構想（案）」に対するご意見と市の考え方について

募集期間：令和8年4月14日(火)～4月27日(月)

結果：5名の方から12件の意見

パブリックコメントに寄せられた計画案へのご意見・ご要望と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

ご意見・ご要望	市の考え方
<p>こちらに投稿する内容が不明なのですが、松任駅周辺に東京ドーム3個分のJR所有の土地があると聞きました。</p> <p>駅に近い所なので、色々活用があるかと思いますが線路は残し、アリーナを作って欲しいです。</p> <p>文化もいいですが、アリーナは若い人も集まり金沢からも近いので、一度考えて欲しいと思い投稿しました。</p>	<p>松任駅周辺の金沢総合車両所松任本所跡地については、令和6年度に「白山市金沢総合車両所松任本所跡地活用検討委員会」を設置し、将来この地がどうあるべきかについての「土地利用ビジョン」をとりまとめ、令和8年3月に土地の所有者であるJR西日本に提言しました。</p> <p>この「土地利用ビジョン」を基に、賑わい創造の場も設けられるよう、JR西日本と協議を続け、国・県・関係機関と連携し必要な支援を図っていく予定です。</p>
<p>南北、東西に走る二つの線路は、他の市町にはない魅力であり、衰退しないよう、金沢駅まで無理に行かなくても、駅までの縦横の輸送を強化するのはいかがでしょうか？</p>	<p>「IRいしかわ鉄道線」及び「北陸鉄道石川線（白山ジオパークライン）」は、沿線住民の日常生活を支えるだけでなく、道路混雑の緩和にも寄与する公共交通であり、本市にとって今後も必要な大量輸送機関であると認識しています。</p> <p>鉄道の利用促進と併せて、鉄道会社や関係自治体と連携して、鉄道や路線バス、コミュニティバス等との接続強化を図るなど、圏域内をスムーズに移動できる交通サービスの実現や、広域的な公共交通網の構築に向け取り組んでまいります。</p>
<p>高齢社会に対する新たな挑戦を具体的に示してほしい。老人ホームをあちこちに作るのではなく、高齢者シェアハウスなど、自立しやすく、社会を感じられる環境を提供し、転入頼らず、持続可能な自治体を実現してほしい。</p>	<p>高齢化が進む中で、高齢者が自立して生活できることは重要と考えています。</p> <p>高齢者が地域で安心して暮らせるよう、介護予防や健康づくりを一体的に推進するほか、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、施設入所待機者の状況等を踏まえながら計画的な施設整備を図るなど、</p>

ご意見・ご要望	市の考え方
	地域や関係機関と連携して取り組んでまいります。
<p>防災に関して、防災倉庫を作るよりも、各家庭が倉庫代わりになるよう、非常食の定期購入の大規模補助の方が、維持費も安く、個々人の意識改革、幅広い支援につながることはないでしょうか？何かあったときには、それらを回収すれば、住民の団結力などにもつながるように思います。</p>	<p>防災用品の家庭での備蓄も重要であると認識しており、本市では「家庭用防災用品購入費助成金制度」で保存食等の購入を助成するなど、各家庭での備蓄を推進しています。</p> <p>また、防災を通じた住民の団結力強化についても重要であり、地域や町内会等で行われる防災訓練を通じて防災意識のさらなる向上に努めてまいります。</p>
<p>コミュニティのように、特定の人だけが、負担をする社会システムではなく、多くの人々が自然と絡む社会システムが一つでも増えるといいなと思います。</p>	<p>多くの人々が自然と関わる社会の仕組みが広がっていくことは大変重要であると認識しております。</p> <p>令和6年度から、市内全28地区において、地域コミュニティ組織による地域づくり活動が一斉にスタートしました。年齢や立場にとらわれず、多様な方々に地域づくりへ参画いただく体制づくりを進めるとともに、持続可能な地域づくりに取り組んでまいります。</p>
<p>10年後、世界から注目される白山市を目指してください。</p>	<p>白山市の様々な魅力を発信し、知名度向上に取り組んでまいります。</p>
<p>「市民主体のまちづくり」を支える公園管理支援制度の面積連動化について</p> <p>【関連する基本理念・目標】</p> <p>基本理念「協働するまち」</p> <p>まちづくりの目標（4）自然と共生する市民主体の持続可能なまちづくり（市民生活）</p> <p>まちづくりの目標（2）快適で安全に住み続けられるまちづくり（都市基盤）</p> <p>【意見の内容】</p> <p>基本構想（案）では「みんなでつくる」協働のまちを基本理念に掲げ、「市民主体の持続可能なまちづくり」を目標に位置づけています。この理念を実効あるものとするために、市内の公園管理に係る支援制度を現行の一律方式から面積連動型に改め</p>	<p>公園は、緑や花などの自然の豊かさや年齢や障害の有無などに関わらず誰もが安全に楽しめることが求められています。市民公園管理協定は、地域の皆様の主体的な関わりによる公園の維持管理を通じて、コミュニティの活性化を図ることを目的としております。</p> <p>今後も、公園の維持管理を通じた地域コミュニティの活性化につながるよう、行政と市民、事業者等が協働して取り組むことで、持続可能な管理体制の構築に努めてまいります。</p>

ご意見・ご要望	市の考え方
<p>ることを求めます。</p> <p>1. 現状と問題点</p> <p>現在、市内の公園管理は町内会等の地域住民が担っており、市から一定の支援が行われています。しかし、支援が公園面積に関わらず一律であるため、面積の大きい公園や防災機能を持つ特殊構造の公園を管理する町内会ほど、費用・労力の負担が相対的に重くなっています。</p> <p>たとえば、二段階構造の雨水貯留機能を持つ公園は、通常の公園と比べて管理範囲が広く、維持管理の専門性・手間も異なります。こうした公園を地域が継続して管理し続けるためには、実態に見合った支援が不可欠です。</p> <p>2. 他市の状況</p> <p>近隣では、金沢市や能美市において公園の管理支援を面積に連動させる制度が既に導入されており、公平性・持続可能性の観点から有効に機能していると聞き及んでいます。白山市においても同様の仕組みを導入する条件は十分に整っていると考えます。</p> <p>3. 要望事項</p> <p>第3次総合計画の策定・推進にあたり、以下を要望します。</p> <p>公園管理支援制度を、公園面積に応じた支援額が算定される「面積連動型」に改めること。</p> <p>防災機能（雨水貯留等）を有する公園については、その機能に応じた加算措置を設けること。</p> <p>公園の市民管理を持続可能にするため、管理協定制度の整備・普及を計画に位置づけること。</p> <p>「みんなでつくるまち」を実現するには、地域が自発的に担う仕組みを行政が制度面で支えることが不可欠です。第3次総合計画がその礎となるよう、ぜひご検討をお願いいたします。以上</p>	

ご意見・ご要望	市の考え方
<p>将来都市構造（土地利用ゾーニングと都市軸）を設定することに違和感を感じた。</p> <p>特に「土地利用ゾーニング」の考え方は、地区ごとにどのゾーンに入るかを振り分けて土地利用を推進しようとするものであろうが、白山市内の「地域」は多面性があり、いずれかのゾーンに分類して機能を特定できるとは思えない。</p> <p>例えば、鶴来地区。野々市寄りの地域は急激な人口増加で郊外都市化が進んでいる。一方で、鶴来駅周辺地域は高齢化が進んでいるが、昔ながらの風情を残しながら地域が成り立っている。そのどちらの地域にも、市街地、産業、子育て、福祉、医療、山林、田園、水辺は混ざり合って存在し、地域を構成している。また、それが都会との違いであり、地域の魅力にもなっている。</p> <p>このように、地域には複数の機能が混在している。だから、地域を土地利用ゾーニングに分類して考えるよりも、地域がもつ複数の機能を考慮して秩序ある計画を行っていく考え方が必要なのではないか？</p>	<p>ご提言のとおり、本市のいずれの地域においても多面的な機能があると考えております。</p> <p>本計画における土地利用ゾーニングは、一律の機能に分類するものではなく、大まかな方向性を示すためのものです。</p> <p>各地域の具体的な土地利用の方針等につきましては、概ね20年後を見据えつつ、今後10年間の都市計画の目標を定める個別計画の「白山市都市計画マスタープラン」において、位置づけることとなります。</p> <p>上位計画となる総合計画の策定を受け、令和9年度より第3次の改定の検討を行う都市計画マスタープランにおいては、地域別に現況や課題の整理を行い、より詳細かつ具体的に地域別でめざすべき将来都市像、整備方針などを地域別構想に定める予定としておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
<p>1 将来都市像</p> <p>「しあわせの実感広がる白山市 ～次代へ向かって、みんなでつなぐ～」</p> <p>という将来都市像についてですが、次の10年間の最上位計画となるまちづくりのコンセプト、ビジョンとして以下のように感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや平凡すぎる。あまり魅力が感じられない。市民の共感が得られにくい。他市町との差別化が図られていない。 ・次の10年間について、具体的にどのような都市（まち）を目指すのかが分かりにくい。 ・コンセプト中に「白山市」という言葉はあるものの、白山市としての特徴が感じられない。コンセプトを見て白山市らしいという個性を現した言葉遣いがあってもよいのではないのでしょうか。たとえば、「霊峰白山」「白山の恵み」「山から海へ」 	<p>総合計画の基本構想は、白山市が次の10年で実現を目指す普遍的かつ包括的な方向性を示すものです。市民フォーラムや市民アンケート等でいただいたご意見等も踏まえ、審議会等で議論して作成いたしました。</p> <p>将来都市像については、端的にわかりやすい言葉を用い、語呂の良さも考慮しております。また、将来都市像や基本理念の説明文には、「白山の恵み」や「白山から日本海」など、白山市の特徴を示す言葉を盛り込みました。今後策定を進める基本計画の中においても、可能な限り白山市の個性を表す言葉を入れてまいります。</p> <p>また、基本理念に掲げた「安心、協働、躍動」という3つのキーワードを、今後のまちづくりにおいて積極的に活用してまいります。</p> <p>なお、「ほっと石川」や「いいね金沢」のよう</p>

ご意見・ご要望	市の考え方
<p>「ジオパーク」などといった「これぞ白山市」と一目でわかる言葉を入れてはどうでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の都市像では「健康 笑顔 元気」という三つのキーワードを使用しており、都市計画やライフラインなど各個別分野での基本計画でも使用されるとともに、予算要求などにおいても「健康 笑顔 元気 プロジェクト」として活用されているように見受けられます。コンセプトとして三つのキーワードを使うということが重要ではないかと思えます。 ・「次代」という言葉はやや硬いイメージを感じます。まだ「次世代」の方がいいのかもしれませんが。また「みんなでつなぐ」ものは何なのか分かりにくいと感じます。 ・コンセプトとしての言葉遣いにもっと明るく力強い言葉を入れてはどうでしょうか。たとえば「夢 希望 明るい未来 漲る 迸る 輝く 挑戦する 奮進する」などパワーワードもよいのではないかと思います。 ・県や金沢市が使用している「ほっと石川」や「いいね金沢」みたいに短いフレーズもよいかと思います。 	<p>なキャッチコピー的なフレーズ（石川県や金沢市も将来都市像は別途設定）も白山市をアピールしていく上では有効と思われますので、今後の参考にさせていただきます。</p>
<p>2 基本理念</p> <p>「安心できる」「協働する」「躍動する」というフレーズは他市町でも使い古されている言葉であり、新しく斬新に感じるフレーズが望ましいのではないかと思います。たとえば「挑戦する」「深化する」「時代を超える」「新しい価値を見い出す」「時代に備える」など。</p> <p>また、各理念の説明文について、耳障りの良い修飾語を並べすぎて、かえってわかりにくい印象があるため、箇条書きにしてはどうでしょうか。</p>	<p>基本理念には、まちづくりを進めるうえで普遍的に重要となる要素を、わかりやすい言葉で表現いたしました。市民の皆様がしあわせを実感できる白山市を実現するためには、いずれも欠かせない視点であると考えております。また、「躍動」という言葉には、新たなことへの「挑戦」や「進化」といった想いを込めています。</p>

ご意見・ご要望	市の考え方
<p>3 主要指標の見直し 106000人</p> <p>今後の市の各種総合計画や長期計画のベースとなる人口予測については、より正確かつ慎重なものであるとともに、より「現実を見据えた」ものとする必要があると思います。社人研や国の人口ビジョンなどにおいては、2035年(令和17)予測値で既に10万人を割り込んだものとなっている上、予測するたびに減少幅が大きくなっているものと承知しています。</p> <p>明るい将来値を目指して希望的観測をしたがる行政の姿勢には一定の理解は感じますが、この人口予測値はライフラインをはじめとする各種の計画策定においての基本ベースとなることが考えられることから(多少大きめの数値とした場合には、各種施策が課題設定となってしまふ恐れがある)、安易に定めることなく、市における出生率の現状や企業誘致、基盤整備の進捗や今後の予定、移住・定住施策の実現状況など、より現実を見据えた予測であるべきと思います。</p> <p>行政事務事業のすべては人口予測が適正であるかにかかっているのではないのでしょうか。</p>	<p>将来人口については、ご指摘のとおり、現実を見据えたものとするべきと考えているため、直近の傾向を踏まえた推計としております。人口減少抑制への継続的な取り組みを前提としつつ、過大になり過ぎないように考慮し、目標人口を設定しています。</p> <p>なお、現時点においては直近の2025年国勢調査の確定値は公表されていないことから、今後、状況に応じて見直ししていくことも想定されます。</p>
<p>4 まちづくりの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記将来都市像と基本理念でも書かせてもらったとおり、各目標に使用される言葉が、平凡・特徴が感じられない・耳障りの良いフレーズが並びすぎ、に感じます。 ・また、一つの目標に対して多くの修飾語を並べて使用している関係で、かえって意味が分からないものもあると感じます。 ・(4) 市民生活「自然と共生する市民主体の持続可能なまちづくり」において、「自然と共生する」と「市民主体」と「持続可能」という言葉はそれぞれ別の意味合いの言葉であり、無理に一つの文章につなげているため、タイトルを見ただけでは何を言いたいのが分からないといった印象を持ってしまいました。 	<p>まちづくりの目標は、全分野を網羅できるように設定しているため、複数の内容を盛り込んだ表現のものもあります。</p> <p>ご提案いただきました「防災、災害に強い」「選択と集中(何を優先するか)」「コンパクトシティ(機能と居住の集約・誘導、拡大の抑制)」「交通の利便性向上、生活利便性施設の充実」「ふるさとに愛着を感じられる」といった内容は、基本計画の中において、表現の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、各目標の末尾を『まち』ではなく『まちづくり』としているのは、行政だけでなく市民の皆様と協働で取り組んでいく姿勢を表すためです。</p>

ご意見・ご要望	市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・（５）産業も同様ですし、（７）行財政は日本語（文章）としても若干意味不明に感じます。・まちづくりの目標として、「防災、災害に強い」「選択と集中（何を優先するか）」「コンパクトシティ（機能と居住の集約・誘導、拡大の抑制）」「交通の利便性向上、生活利便性施設の充実」「ふるさとに愛着を感じられる」といったものを挙げてみてはどうでしょうか。・各目標の最後に「まちづくり」をつけてありますが、無理に言葉をつなげているため、日本語として分かりにくい印象があります。「まち」でもよいのではないのでしょうか。	